

生活支援技術

問題 35 次の記述のうち、古い住宅で暮らす高齢者が、ヒートショックを防ぐために必要な環境整備の方法として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 居室の室温を低くする。
- 2 脱衣室の照明を明るくする。
- 3 トイレに床置き式の小型のパネルヒーターを置く。
- 4 入浴直前に浴槽の湯温を60℃にし、蒸気を立てる。
- 5 24時間換気システムを導入する。

問題 36 高齢者にとって安全で使いやすい扉の工夫として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 トイレの扉は内開きにする。
- 2 開き戸は杖の使用者が移動しやすい。
- 3 引き戸は開閉の速度が速くなる。
- 4 アコーディオンドアは気密性が高い。
- 5 引き戸の取っ手は棒型にする。

問題 37 下肢の筋力が低下して、つまずきやすくなった高齢者に適した靴として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 靴底の溝が浅い靴
- 2 靴底が薄く硬い靴
- 3 足の指が固定される靴
- 4 足背をしっかりと覆う靴
- 5 重い靴

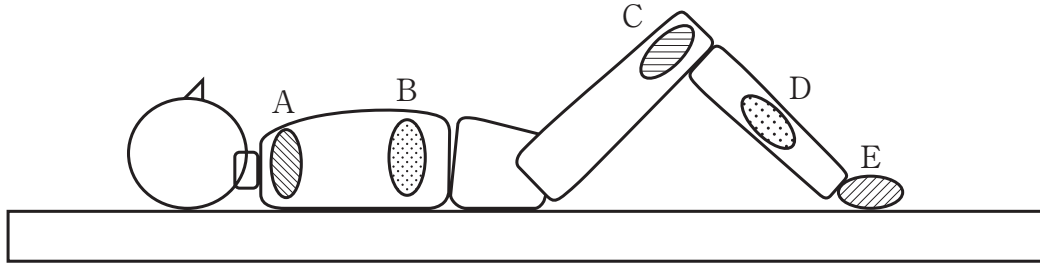
問題 38 介護が必要な利用者の口腔^{こうくう}ケアに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 うがいができる場合には、ブラッシング前にうがいをする。
- 2 歯磨きは、頭部を後屈させて行う。
- 3 部分床義歯のクラスプ部分は、流水で軽く洗う。
- 4 全部の歯がない利用者には、硬い毛の歯ブラシを使用する。
- 5 舌の清拭^{せいしき}は、手前から奥に向かって行う。

問題 39 口腔内^{こうくうない}が乾燥している人への助言に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 苦味の強い食べ物を勧める。
- 2 臥床時は仰臥位^{がしょうじ ぎょうがい はいがい}(背臥位)で枕を使用しないように勧める。
- 3 水分は控えるように勧める。
- 4 唾液腺マッサージをするように勧める。
- 5 ジェルタイプの保湿剤は、前回塗った上に重ねて塗るように勧める。

問題 40 介護福祉職が利用者を^{ぎょうがい はいがい}仰臥位(背臥位)から^{そくがい}側臥位へ体位変換するとき、図に示された力点の部位として、適切なものを1つ選びなさい。



- 1 AとC
- 2 AとD
- 3 BとC
- 4 BとD
- 5 BとE

問題 41 標準型車いすを用いた移動の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 急な上り坂は、すばやく進む。
- 2 急な下り坂は、前向きで進む。
- 3 踏切を渡るときは、前輪を上げて駆動輪でレールを越えて進む。
- 4 段差を上がるときは、前輪を上げて進み駆動輪が段差に接する前に前輪を下ろす。
- 5 砂利道では、駆動輪を持ち上げて進む。

問題 42 Hさん(35歳, 男性)は6か月前, 高所作業中に転落し, 第6胸髄節(Th6)を損傷した。リハビリテーション後, 車いすを利用すれば日常生活を送ることができる状態になっている。

Hさんの身体機能に応じた車いすの特徴として, **最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 ヘッドサポートを装着している。
- 2 ハンドリムがないタイヤを装着している。
- 3 レバーが長いブレーキを装着している。
- 4 片手で駆動できるハンドリムを装着している。
- 5 腰部までのバックサポートを装着している。

問題 43 Jさん(80歳, 女性, 要介護3)は, 介護老人福祉施設に入所している。

食事の後, Jさんから, 「最近, 飲み込みにくくなって時間がかかる」と相談された。受診の結果, 加齢による機能低下が疑われると診断された。

次の記述のうち, Jさんが食事をするときの介護福祉職の対応として, **最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 リクライニングのいすを用意する。
- 2 栄養価の高い食事を準備する。
- 3 食前に嚥下体操えんげたいそうを勧める。
- 4 自力で全量を摂取できるように促す。
- 5 細かく刻んだ食事を提供する。

問題 44 まんせいへいそくせいはいしつかん 慢性閉塞性肺疾患(chronic obstructive pulmonary disease)のある利用者の食事に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 繊維質の多い芋類を食事に取り入れる。
- 2 炭酸飲料で水分補給をする。
- 3 たんぱく質の多い食事は控える。
- 4 高カロリーの食事は控える。
- 5 1回の食事量を減らし、回数を増やす。

問題 45 入浴の身体への作用を踏まえた介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 浮力作用があるため、食後すぐの入浴は避ける。
- 2 浮力作用があるため、入浴中に関節運動を促す。
- 3 静水圧作用があるため、入浴後に水分補給をする。
- 4 静水圧作用があるため、入浴前にトイレに誘導する。
- 5 温熱作用があるため、お湯につかる時間を短くする。

問題 46 ししまひ 四肢麻痺の利用者の手浴に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ぎょうがい はいがい 仰臥位(背臥位)で行う。
- 2 手指は、30分以上お湯に浸す。
- 3 手関節を支えながら洗う。
- 4 指間は、強く洗う。
- 5 指間は、自然乾燥させる。

問題 47 利用者の状態に応じた清潔の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 乾燥性皮膚疾患がある場合、弱アルカリ性の石鹼^{せっけん}で洗う。
- 2 人工透析をしている場合、柔らかいタオルでからだを洗う。
- 3 褥瘡^{じよくそう}がある場合、石鹼^{せっけん}をつけた指で褥瘡部^{じよくそうぶ}をこすって洗う。
- 4 糖尿病性神経障害(diabetic neuropathy)がある場合、足の指の間はナイロンたわしで洗う。
- 5 浮腫のある部位は、タオルを強く押し当てて洗う。

問題 48 Kさん(72歳, 女性, 要介護2)は、脳梗塞(cerebral infarction)で入院したが回復し、自宅への退院に向けてリハビリテーションに取り組んでいる。トイレへは手すりを使って移動し、トイレ動作は自立している。退院後も自宅のトイレで排泄^{はいせつ}を希望している。

Kさんが自宅のトイレで排泄^{はいせつ}を実現するために必要な情報として、最も優先されるものを1つ選びなさい。

- 1 便意・尿意の有無
- 2 飲食の状況
- 3 衣服の着脱の様子
- 4 家族介護者の有無
- 5 トイレまでの通路の状況

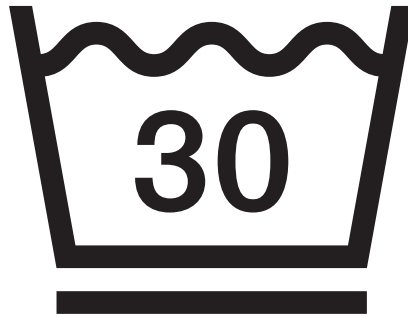
問題 49 自己導尿を行っている利用者に対する介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 座位が不安定な場合は、体を支える。
- 2 利用者が自己導尿を行っている間は、そばで見守る。
- 3 利用者と一緒にカテーテルを持ち、挿入する。
- 4 再利用のカテーテルは水道水で洗い、乾燥させる。
- 5 尿の観察は利用者自身で行うように伝える。

問題 50 下肢筋力の低下により立位に一部介助が必要な車いすの利用者が、トイレはいせつで排泄をするときの介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 便座の高さは、利用者の膝よりも低くなるように調整する。
- 2 便座に移乗する前に、車いすのバックサポートに寄りかかってもらう。
- 3 車いすから便座に移乗するときは、利用者の上腕を支える。
- 4 利用者が便座に移乗したら、座位が安定していることを確認する。
- 5 立ち上がる前に、下着とズボンかたいふを下腿部まで下げておく。

問題 51 図の洗濯表示の記号の意味として、正しいものを1つ選びなさい。



- 1 液温は30℃以上とし、洗濯機で洗濯ができる。
- 2 液温は30℃以上とし、洗濯機で弱い洗濯ができる。
- 3 液温は30℃以上とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる。
- 4 液温は30℃を上限とし、洗濯機で弱い洗濯ができる。
- 5 液温は30℃を上限とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる。

問題 52 衣服についてのバターの上みを取るための処理方法に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 水で洗い流す。
- 2 しみに洗剤を浸み込ませて、布の上に置いて叩く。
- 3 乾かした後、ブラッシングする。
- 4 氷で冷やしてもむ。
- 5 歯磨き粉をつけてもむ。

問題 53 食中毒の予防に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 鮮魚や精肉は、買物の最初に購入する。
- 2 冷蔵庫の食品は、隙間なく詰める。
- 3 作って保存しておく食品は、広く浅い容器に入れてすばやく冷ます。
- 4 再加熱するときは、中心部温度が60℃で1分間行う。
- 5 使い終わった器具は、微温湯をかけて消毒する。

問題 54 喘息のある利用者の自宅の掃除に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 掃除機をかける前に吸着率の高いモップで床を拭く。
- 2 掃除は低い所から高い所へ進める。
- 3 拭き掃除は往復拭きをする。
- 4 掃除機の吸い込み口はすばやく動かす。
- 5 掃除は部屋の出入口から奥へ向かって進める。

問題 55 ベッドに比べて畳の部屋に布団を敷いて寝る場合の利点について、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 布団に湿気がこもらない。
- 2 立ち上がりの動作がしやすい。
- 3 介護者の負担が少ない。
- 4 床からの音や振動が伝わりにくい。
- 5 転落の不安がない。

問題 56 睡眠の環境を整える介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 寝具を選ぶときは、保湿性を最優先する。
- 2 湯たんぽを使用するときは、皮膚に直接触れないようにする。
- 3 寝室の温度は、1年を通して15℃前後が望ましい。
- 4 枕は、顎が頸部^{けいぶ}につくぐらいの高さにする。
- 5 就寝中の電気毛布は、スイッチを切る必要がない。

問題 57 Lさん(78歳、男性)は、脳梗塞後遺症による右片麻痺^{みぎかたまひ}がある。妻の介護疲れで、3日前から介護老人保健施設の短期入所療養介護(ショートステイ)を利用している。入所以降、Lさんは日中もベッドで横になっていることが多かったため、介護福祉職がLさんに話を聞くと、「夜、眠れなくて困っている」と訴えた。

介護福祉職のLさんへの対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 施設の起床時間や消灯時間をわかりやすく伝える。
- 2 眠ろうとする意志が大切だと説明する。
- 3 自宅での睡眠の状況について詳しく尋ねる。
- 4 日中の睡眠の必要性を伝える。
- 5 睡眠薬の服用について提案する。

問題 58 「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」(2018年(平成30年)改訂(厚生労働省))において、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)が重要視されている。このアドバンス・ケア・プランニング(ACP)を踏まえた、人生の最終段階を迎えようとする人への介護福祉職の言葉かけとして、**最も適切なものを1つ選びなさい。**

- 1 「生活上の悩みごとは、近くの地域包括支援センターに相談できます」
- 2 「今後の医療とケアについては、家族が代わりに決めるので安心です」
- 3 「今後の生活について、家族や医療・介護職員と一緒に、その都度話し合ってください」
- 4 「口から食べることができなくなったら、介護職員に相談してください」
- 5 「意思を伝えられなくなったら、成年後見制度を利用しましょう」

問題 59 死期が近づいたときの介護に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ選びなさい。**

- 1 食事量が減少したときは、高カロリーの食事を用意する。
- 2 チアノーゼ(cyanosis)が出現したときは、れいあんぼう冷罨法を行う。
- 3 ぜんしんけんたいかん全身倦怠感が強いときは、ぜんしんせいしき全身清拭からぶぶんせいしき部分清拭に切り替える。
- 4 傾眠傾向があるときは、話しかけないようにする。
- 5 こうくうないかんそう口腔内乾燥があるときは、アイスマッサージを行う。

問題 60 高齢者施設で利用者の死後に行うデスカンファレンス (death conference)

に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ボランティアに参加を求める。
- 2 ケアを振り返り、悲しみを共有する。
- 3 利用者の死亡直後に行う。
- 4 個人の責任や反省点を追及する。
- 5 自分の感情は抑える。